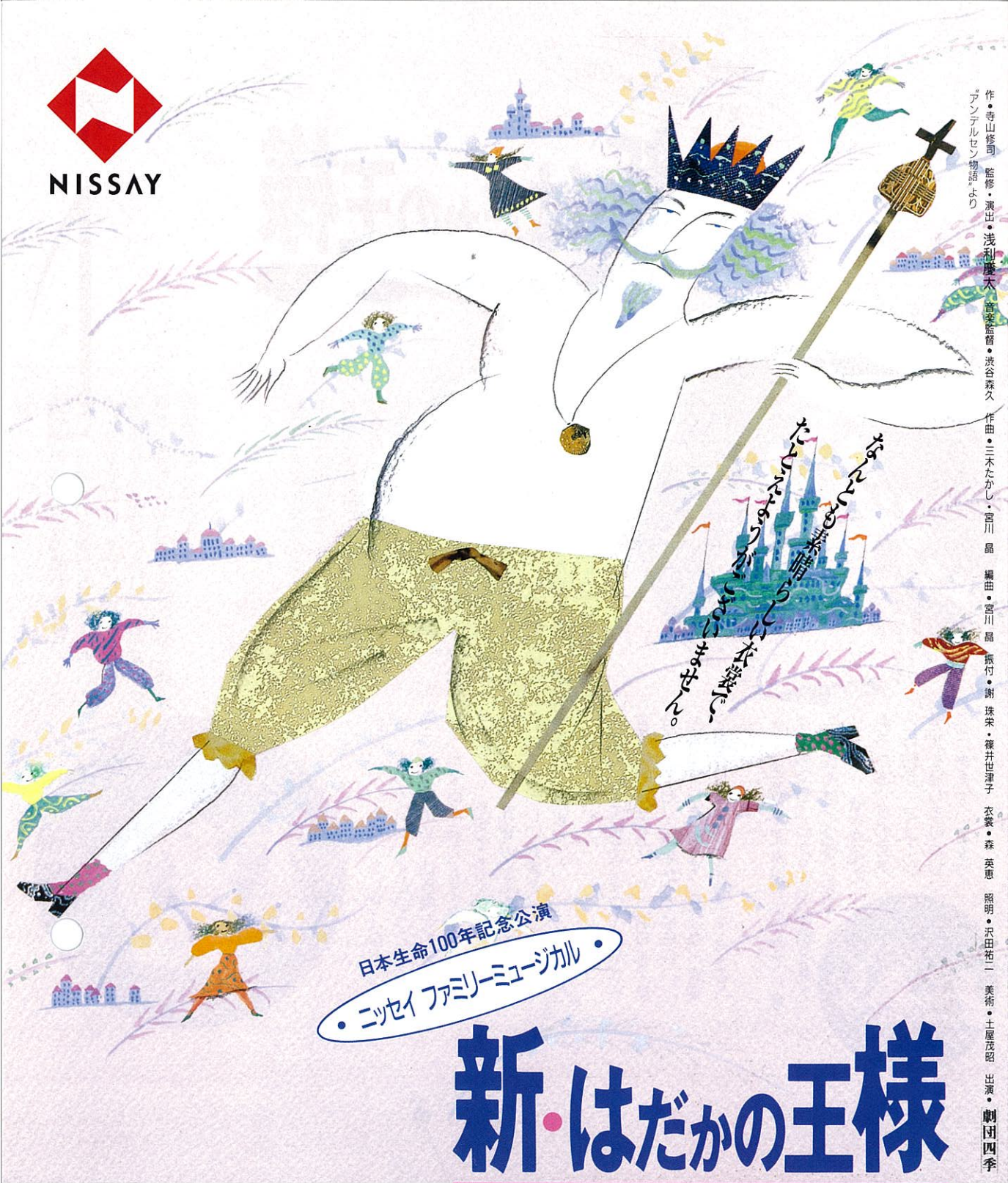




NISSAY



作・寺山修司 監修・演出・浅利藤太 音楽監督・渋谷森久 作曲・三宅たかし・宮川 晶 編曲・宮川 晶 振付・謝 珠栄・篠井世津子 衣裳・森 英恵 照明・沢田祐二 美術・土屋茂昭 出演・劇団四季

日本生命100年記念公演

ニッセイファミリーミュージカル

新・はだかの王様

100
NISSAY 100th

7月26日

時間 ● 午後1時30分開場
午後2時00分開演

会場 ● たんば田園交響ホール

主催 ● 藤山町
後援 ●

日本生命100年記念公演

・ニッセイファミリーミュージカル・

新・はだかの王様

お

城の 様は洋服が大好き。
世界一の衣裳持ちです。庭に
赤い花が咲けば、それに似合う青い
服に着替え、お気に入りのお葬式の
服ができればネコのために立派なお
葬式をおこないます。

毎日、何度も衣裳を着替える王様の
今の気がかりは、王女の婚約発表の
式典の晴れ着が決まらないこと。国
じゅうの洋裁師にプランを出させて
いるのですが…。

そんな王様のもとに、世界一の洋裁
師と称するベテン師がふたり、婚約
発表のための衣裳をことばたくみに
売り込みにきました。その服という
のはなんと、役に立たない者やバカ
な者には見えないという、ふしぎな
服です。

あらすじ



さあ、たいへん。もし見えなかったら、バカで役立たずということになつてしまいます。仕事場ののぞきに行つた大臣たちも、見えない衣裳を、「色は赤でも青でもなく、複雑多様な…」とか「孔雀の羽毛を…」とか。それはすばらしい衣裳と、ほめたたえます。

話を聞いて王様もウキウキしながら見学に行きますが、やっぱり見えません。でも、「見事だ。すばらしい。」と言つてしまいます。見えない衣裳を着る日はどんどん近づいてきます。

さて、王様は、王女は、はだかで行進するのでしょうか？この物語を見て、みなさんはどう感じるでしょう。嘘や見栄のおろかさ。真の勇氣とは何か、ミュージカルを通していっしょに考えていきます。



劇団四季について

演出家・浅利慶太を代表とする劇団で、創立以来幅広い演劇活動を全国的に展開しています。〈キャッツ〉や〈オペラ座の怪人〉など、本格的なミュージカルの上演に積極的にとりくむとともに、子どものためのミュージカルにも力を注いでおり、ニッセイ名作劇場には、昭和39年の初演から連続して出演。たくさん子どもたちに夢と感動をあたえつづけています。

ニッセイファミリーミュージカルについて

ニッセイでは、舞台ならではの迫力と生きた感動で子どもたちの心を豊かに育むことと、全国への芸術文化の広がりをお願い、親子で楽しむミュージカルを各地で開催。今年から「ニッセイファミリーミュージカル」と名前をかえて、さらに素敵な舞台をお届けしてまいります。今回の作品は、「新・はだかの王様」。このミュージカルが問いかけるテーマについて、お子様と一緒に話しあってみませんか。

